

令和6年度 第2回 静岡市図書館協議会

日時 令和7年1月17日(金)

10時00分～12時00分

会場 藁科生涯学習センター2階ホール

次 第

1 開 会

2 教育局次長挨拶

3 議 題

(1) 電子図書館について

(2) 市民意識調査について

(3) 将来ビジョンについて ほか

4 事務連絡

5 閉 会

6 藁科図書館見学

静岡市図書館協議会委員名簿

協議会の名称		静岡市図書館協議会			
根拠法令等		図書館法第14条第1項・静岡市図書館条例第12条			
No.	職名	氏名	区分	委嘱年月日	備考
1	会長	那珂元	学識経験者	R5.9.1	
2	副会長	豊田高広	学識経験者	R5.9.1	
3	委員	伊澤こずえ	家庭教育関係者	R5.9.1	
4	委員	加藤道子	社会教育関係者	R5.9.1	
5	委員	清俊之	学校教育関係者	R5.9.1	
6	委員	清尚子	社会教育関係者	R5.9.1	
7	委員	宗野吉利	市民委員	R5.9.1	
8	委員	千頭和達男	社会教育関係者	R5.9.1	
9	委員	堀川仁	市民委員	R5.9.1	
10	委員	森規子	社会教育関係者	R5.9.1	

事務局職員名簿			
職名	氏名	職名	氏名
教育局次長	本野 雄一郎	長田図書館長	内田 房江
参与兼中央図書館長	望月 一竹	清水中央図書館長	鎌田 晃寛
参事兼中央図書館副館長兼 管理係長	伊藤 智穂	清水興津図書館長	杉山 聡
中央図書館サービス係長	照内 美穂	主幹兼蒲原図書館長	杉山 利慶
参事兼御幸町図書館長	高田 裕成	中央図書館麻機分館 主査(再)	川口 英紀
参事兼藁科図書館長	田中 邦子	中央図書館美和分館 主任主事	下嶋 麻未
西奈図書館長	田島 昭紀	中央図書館サービス係主査	井柳 京子
北部図書館長	石川 訓子	中央図書館サービス係 主査(再)	坂下 朝子
参事兼南部図書館長	佐藤 由乃	中央図書館サービス係 会計年度任用職員	大橋 直江

電子図書館の現在の状況について

資料Ⅰ

Ⅰ 学校連携の状況

市内の静岡市立小学校・中学校の児童・生徒、教職員全員に、電子図書館のみ利用が可能な専用IDを附番し、学習端末から「しずおかし電子図書館」が利用できる連携事業を令和6年9月から開始した。

【学校数と児童・生徒数（＝配布したIDの数）】

	校数	児童・生徒数
小学校	87	30,000
中学校	43	15,000

（Ⅰ）ログイン状況

月	ログイン回数		ログイン実人数	
	小学生	中学生	小学生	中学生
9月	29,067	3,788	9,193	2,823
10月	26,618	1,908	7,621	1,073
11月	23,896	1,928	7,663	1,101

ログイン回数0回の学校数

・小学校：11校

・中学校：16校

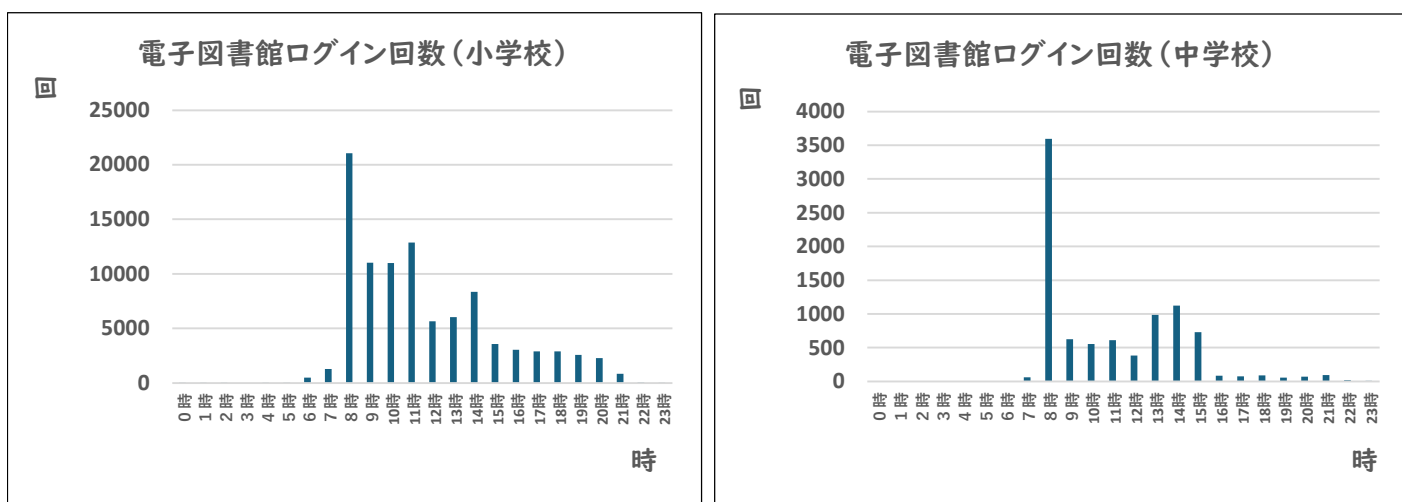
→ 利用勧奨

（Ⅱ）利用状況

【閲覧回数】

	小学生			中学生		
	青空文庫	静岡資料	読み放題	青空文庫	静岡資料	読み放題
9月	534	134	60,198	195	31	3,427
10月	891	228	53,029	53	41	1,746
11月	708	92	46,606	50	0	1,946

【ログイン回数（時間ごと）】



- ・朝8時台のログインが圧倒的に多いことから、朝読書や朝自習等の時間に活用されていることがうかがえる。また、9時から15時台までのログインは授業での利用であると思われる。
- ・「読み放題」には、小説やおはなしなどの読み物のほか、知識を深められる科学的・社会的な読み物や、調べ学習に使える本など様々な本が入っていることから、ジャンルにとらわれることなく、子どもたちが自由に本を選ぶことができるよう今後も所蔵を継続していきたい。
- ・学習用端末を使った電子図書館の活用については、今後も学校側の意見も聞きながら、効果的な取り組みになるよう検討を続けていく。

Ⅱ 電子図書館の利用状況

【年代別実利用者数（貸出者数）】 各月に貸出を利用した人の数 ※同一人は1日1カウント（人）

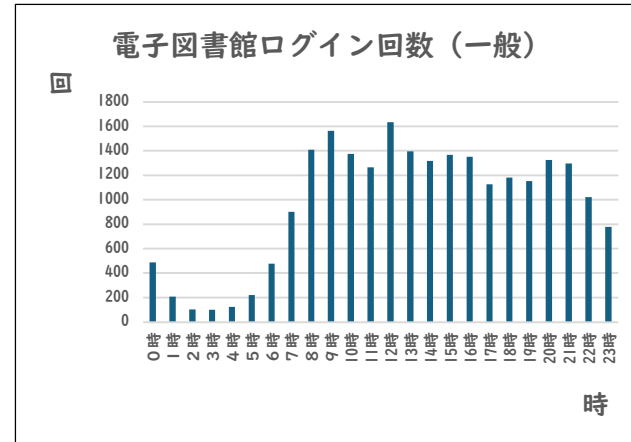
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
0-6歳	25	8	11	7	4	16	9	10	8	0.83%
7-9歳	33	26	18	17	23	36	29	46	45	2.31%
10-12歳	35	23	27	61	50	62	65	77	69	3.97%
13-15歳	23	4	13	21	16	18	20	16	44	1.48%
16-18歳	23	12	13	15	11	20	10	17	8	1.09%
19-22歳	31	14	13	19	17	28	20	26	19	1.58%
23-29歳	105	50	48	43	35	25	38	42	55	3.73%
30-39歳	393	220	236	224	219	254	235	228	222	18.88%
40-49歳	363	222	281	239	202	242	223	261	249	19.31%
50-59歳	301	255	268	247	260	289	293	230	267	20.39%
60-69歳	287	216	226	223	241	251	262	253	207	18.33%
70歳以上	150	117	131	96	90	80	100	103	91	8.11%
小計	1,769	1,167	1,285	1,212	1,168	1,321	1,304	1,309	1,284	

※20代までは、未就学児・小学校低学年・小学校高学年・中学生・高校生・大学生・大学生以上という分け方

※この表の数値に、小中学生の学習用端末で使用する専用IDによる閲覧は含まれていない

- ・現在、電子図書館を利用している主な年齢層は、30代から60代までである。今後、この層が年を重ねても利用を継続してもらえれば、自動的に70代以上での利用も高くなることが見込まれる。
- ・7歳から15歳の小中学生については、学校連携を通じて電子図書館を知ってもらった上で、一般の図書館カードでも電子図書館を利用してもらい、ひいては10代・20代の利用の促進につなげたい。

【ログイン回数（時間ごと）】



※上記2つの表に、小中学生の学習用端末で使用する専用IDによるログインや閲覧は含まれていない

【貸出・閲覧回数】

	貸出	閲覧			貸出・閲覧
	一般資料	青空文庫	静岡資料	読み放題	合計
3月	2,897	784	174	0	3,855
4月	1,755	313	105	0	2,173
5月	1,952	217	107	0	2,276
6月	1,787	200	59	0	2,046
7月	1,782	160	65	0	2,007
8月	2,046	117	103	0	2,266
9月	1,984	216	160	1,741	4,101
10月	1,912	186	500	824	3,422
11月	1,882	186	182	988	3,238

- ・ログイン時間が最も多いのは12時台で、会社の昼休み等に利用している人が多いことがうかがえる。それ以外の時間は、深夜から明け方を除いて満遍なく利用されている。
- ・貸出や閲覧については、9月以降、学校連携を機に閲覧を開始した「読み放題」が一般の人にも読まれている印象。図鑑等もあり、同時に多くの人が読むことができるので、一定の利用につながっていると思われる。

- 今年度、電子図書館の年間貸出・閲覧点数20,000点以上を目標にしていた。（購入できる資料の見込点数等から設定）4～11月の合計が21,529点で目標は達成している。来年度以降の目標は今年度の実績をベースに設定する。
- 電子図書館の目的のひとつが、今まで図書館を利用できなかった人にも読書を楽しんでもらうことだった。この目的の達成度については、年度末に実施する電子図書館の利用者向けのアンケートで確認予定。現時点では、図書館が閉館している夜間にもログインが多いことから、一定程度の効果はあったと推察している。

【調査概要】

	令和元年度	令和6年度
調査期間	6/1～24	6/1～21
母集団	静岡市在住の18歳以上の市民	
回答者数	1,377人	1,353人
(内訳比率)10代	0.9%	1.0%
20代	5.2%	5.3%
30代	11.4%	9.5%
40代	14.6%	12.7%
50代	17.1%	17.5%
60代	19.2%	18.4%
70代以上	29.2%	34.4%
(内訳比率)葵区	37.6%	37.0%
駿河区	26.4%	28.3%
清水区	31.2%	33.6%

この市民意識調査は静岡市広報課が毎年実施している。
静岡市在住の18歳以上の市民を無作為に3,000人抽出し、郵送配布している。
回答方法は、令和元年度は郵送のみ、令和6年度は郵送またはインターネットによる回答。
有効回収率 令和元年度:45.9%、令和6年度:45.1%

図書館は5年に1度、「読書習慣と図書館の利用について」という内容で市民意識調査に掲載している。
質問内容は、定点観測のため毎回する質問と、その時点で調査すべき内容の質問がある。

Ⅰ 前回（令和元年度）調査との比較

(1) あなたは過去1年間に、静岡市立図書館をどのくらい利用しましたか。

※移動図書館、電子図書館を除く

	令和元年度	令和6年度	増減
利用した	38.9% (536人)	32.5% (440人)	6.4%減
利用しなかった	59.7% (822人)	65.4% (885人)	5.7%増

注)「移動図書館を除く」と明記したのは令和6年度からなので、若干差が出ている可能性がある。

※無回答が令和元年度1.4%、令和6年度2.1%あり

(2) あなたが一番利用した図書館を教えてください。※(1)で利用したと回答した人のみ回答

図書館名	令和元年度	令和6年度	増減
中央	19.6%	16.4%	3.2%減
御幸町	9.3%	9.5%	0.2%減
藁科	4.3%	1.8%	2.5%減
西奈	6.5%	7.7%	1.2%増
北部	6.2%	7.0%	0.8%増
南部	17.0%	16.8%	0.2%減
長田	7.1%	8.2%	1.1%増
清水中央	14.0%	14.1%	0.1%増
清水興津	5.0%	7.0%	2.0%増
蒲原	2.4%	4.1%	1.7%増
麻機分館	1.5%	2.3%	0.8%増
美和分館	0.7%	1.1%	0.4%増

・中央図書館利用者の割合が減り、清水興津、蒲原図書館の割合が増えている。
原因は不明だがコロナ禍での行動制限が転機となった人は一定数いると思われる。
・本調査のタイミングで「過去1年間」とは主に令和5年度となり、藁科図書館の休館と重なる。そのため藁科図書館の利用率が減り、西奈、北部、長田図書館の利用率が上がった可能性がある。(西奈はバイパスに乗れば藁科地域からも行きやすいという意見があった。)

(3) 図書館を利用しなかった理由は何ですか。複数回答可。※(1)で利用しなかったと回答した人のみ回答

	令和元年度	令和6年度
借りる必要がない	33.7%	32.3%
図書館に興味がない	24.3%	19.3%
借りた本・資料を返すのが面倒	19.3%	19.2%
インターネットで十分	21.2%	18.0%
図書館までの交通が不便	15.6%	13.7%
駐車場がない、あっても不便	7.8%	8.0%

・他の選択肢もあったが、上位6つの選択肢は変わらなかった。
・ハード面の改善はなかなか難しいが、機会があれば逃さず改善していきたい。(中央図書館における城北公園の駐車場整備等)

2 令和6年度の調査で新たに質問した内容について

(1) あなたは過去1年間、書籍をどのくらい読みましたか。(漫画・コミックを除く)

※図書館の利用の有無は関係ない

	0冊	1～9冊	10冊以上
紙の本	31.1%	49.9%	16.5%
電子書籍	73.2%	15.1%	3.9%

・電子書籍は、10代～40代は25%以上が1冊以上読んだと回答している。

(2) 静岡市立図書館のサービスで充実してほしいことは何ですか。複数回答可。

※図書館の利用の有無は関係ない

① 一般図書(33.6%)	⑥ 新聞雑誌(11.6%)	⑪ 会話ができる環境(6.7%)
② 大人・高齢者向け講座(17.4%)	⑦ CD・DVD(10.9%)	⑫ 電子書籍(5.4%)
③ 静かな環境(16.4%)	⑧ 児童書(10.3%)	
④ Wi-Fi環境(15.8%)	⑨ おはなし会・子ども向けイベント(7.4%)	
⑤ 自習ができるスペースの増設(13.2%)	⑩ 特集・展示(7.2%)	

(3) あなたがその図書館(左記 1(2))を利用した理由は何ですか。複数回答可。

理 由	回答割合
借りたい本・資料があるから	52.0%
家から近いから	50.0%
駐車場があるから	30.7%
本・資料の数が多いから	24.1%
自習できる席があるから	11.6%
職場や学校から近いから	7.0%

・10代の回答者が少ないため(440人中6人)、自習ができる席があることや学校から近いことを理由に図書館に来ている利用者は、実際にはこの割合より多いと思われる。

・蔵書の数や質はもちろん、家から近いということも図書館に行く大きな理由であることが分かる。

(4) 静岡市では、図書館サービスが届きにくい地域を巡回する移動図書館事業を実施しています。
静岡市立移動図書館について、当てはまるものを選んでください。

利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
3.8%	42.3%	48.5%	5.4%

＜移動図書館に対する意見＞

- ・以前と比べ本屋が減り、本を手にとることが難しい地域にとって移動図書館は必要だと思う。
- ・とてもよく利用させてもらっている。紙の本が好きなのでこれからもサービスを続けてほしい。
- ・図書館へ行きたくても困難な方へ良い取り組みと思う。
- ・自分の足で図書館へ行けない方が増えてくると思うのでこれからも続けてほしい。
- ・老人ホームや幼稚園などを中心に巡回してほしい。
- ・理念は素晴らしいが嗜好が多様化した現代において今の形で効果を出すのは難しいと思う。
- ・移動図書館がいつ、どこに来ているのか知らない・分からない。
- ・もっと宣伝してほしい。

(5) 静岡市では今年3月に、スマートフォンやタブレットからいつでもどこでも電子書籍の貸出・返却ができる電子図書館を開設しました。
静岡市電子図書館について、当てはまるものを選んでください。

利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
1.3%	11.0%	80.9%	6.8%

開設の前後、市広報紙や図書館のSNS、webページ、ラジオや新聞等様々な手段で周知をしたが、認知度は低かった。今後も危機感を持って電子図書館の認知度向上に努めていく。